

静岡県月例経済報告

(平成29年1月号)

……平成28年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 489

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	13
・雇用面	15
・その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成28年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成28年11月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、下げ止まりの兆しがみられる。
- ・ 生産は、下げ止まりの兆しがみられる。

需要面

◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(11月)は、百貨店が4か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが4か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも、4か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(11月)は、家電大型専門店が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが5か月連続、ドラッグストアが20か月連続、ホームセンターが4か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、軽自動車が2か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が4か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

貸家が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が2か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(11月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年12月14日)の28年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(11月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

◎輸出は、下げ止まりの兆しがみられる。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額（11月）は、エアコンが3か月連続、科学光学機器が5か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が3か月ぶり、自動車は2か月ぶり、自動車の部分品が3か月連続、二輪自動車類が6か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額（11月）は、木材とパルプで前年実績を下回ったものの、全体では12か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、814億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、下げ止まりの兆しがみられる。

鉱工業生産指数（10月）は、はん用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品、食料品・たばこがいずれも2か月連続、電気機械が9か月ぶり、輸送機械が20か月連続、化学が3か月ぶりに前年水準を下回ったことから、総合でも2か月連続で前年を下回った。また、2か月連続で前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（10月）は、総合では2か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（11月）は1.41倍で、前月を0.02ポイント上回り、34か月連続で1倍を上回った。また、全国値と同水準となった。

雇用保険受給者実人員（11月）は、40か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（10月）は、前年を上回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年と同水準となった。

県内金融機関の貸出残高（11月）は、前年同月比2.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（11月）は、前年と同水準となった。

◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を上回った。

企業倒産（12月）は、件数は35件で前年同月比84.2%増、負債総額は前年同月比60.7%増となり、いずれも前年実績を上回った。

<<県の取組>>

【 ふじのくに総合食品開発展2017を開催しました 】

1 目 的

県は、本県の多彩な農林水産物を生産・活用する事業者（生産者、加工業者、食品機械製造業者）の販路開拓を支援するため、事業者間（B to B）の取引成立を促す県内最大規模の展示商談会（8回目）を開催しました。当日は、185社・団体が出展し約1,000人が来場しました。

2 開催日時・会場

平成29年1月11日（水）午前9時40分から午後5時まで
静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）1階大ホール「海」

3 概 要

区 分	内 容
開会式	吉林副知事によるトップセールス
展示商談会	<p><出展者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業者、JAグループ、食品加工業者、食品機械・検査・容器等製造取扱業者 ・富士山静岡空港就航先（北海道、鹿児島県）企業等 ・海外企業等（モンゴル、韓国、アメリカ、イタリア） ・大学、試験研究機関
研究成果発表 セミナー プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等による研究成果発表 ・ハラルセミナー ・中国EC（ネット通販）に関するセミナー ・イタリア国 フリウリ・ヴェネチア・ジュリア州及び出展企業によるプレゼンテーション
個別商談会	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に申込みのあったバイヤーと出展者の個別商談 ・専門家による商品開発、販路開拓に関するアドバイス



II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

11月 = 34,265百万円

*前年同月比： 2.5%増

(県内3百貨店、130スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は34,265百万円で、前年同月比2.5%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比0.7%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同3.4%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総合でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品（前年同月比0.9%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同4.9%増）が4か月ぶり、飲食料品（同2.8%増）が2か月連続、家庭用品（同2.8%増）が9か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.4%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	32,936	34,074	33,329	35,711	33,931	31,351	33,979	34,265
前年同月比(%)	1.0	▲1.1	0.0	0.7	▲2.7	▲3.5	▲1.0	2.5
うち百貨店(%)	▲2.5	▲5.1	▲3.4	1.1	▲4.9	▲5.2	▲2.8	▲0.7
スーパー(%)	1.9	▲0.1	0.9	0.5	▲2.3	▲3.1	▲0.5	3.4
(参考1)全国前年同月比(%)	▲0.7	▲2.2	▲1.5	0.6	▲3.6	▲3.2	▲1.0	▲0.3
うち百貨店(%)	▲3.6	▲4.8	▲3.6	▲0.2	▲6.0	▲5.0	▲4.0	▲2.7
スーパー(%)	0.8	▲0.8	▲0.3	1.1	▲2.6	▲2.3	0.6	1.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.1	▲1.3	0.3	0.9	▲2.9	▲3.2	▲0.9	1.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	1.8	▲4.9	1.6	0.9	▲6.3	▲5.4	▲2.1	4.9
うち紳士服・洋品	4.5	2.7	6.2	4.1	▲2.6	▲4.5	0.5	9.9
婦人・子供服・洋品	0.9	▲7.5	▲0.5	0.7	▲7.4	▲5.3	▲2.5	3.0
身の回り品	▲4.9	▲5.7	▲2.3	1.3	▲4.9	▲10.9	▲6.8	▲0.9
飲食料品	1.7	▲0.3	▲0.1	0.6	▲1.2	▲2.3	0.1	2.8
家庭用品	▲11.2	▲3.8	▲4.6	▲2.4	▲6.7	▲6.0	▲6.8	2.8
うち家庭用電気機械器具	▲1.4	2.1	7.1	▲2.4	▲13.1	▲4.7	9.6	4.5

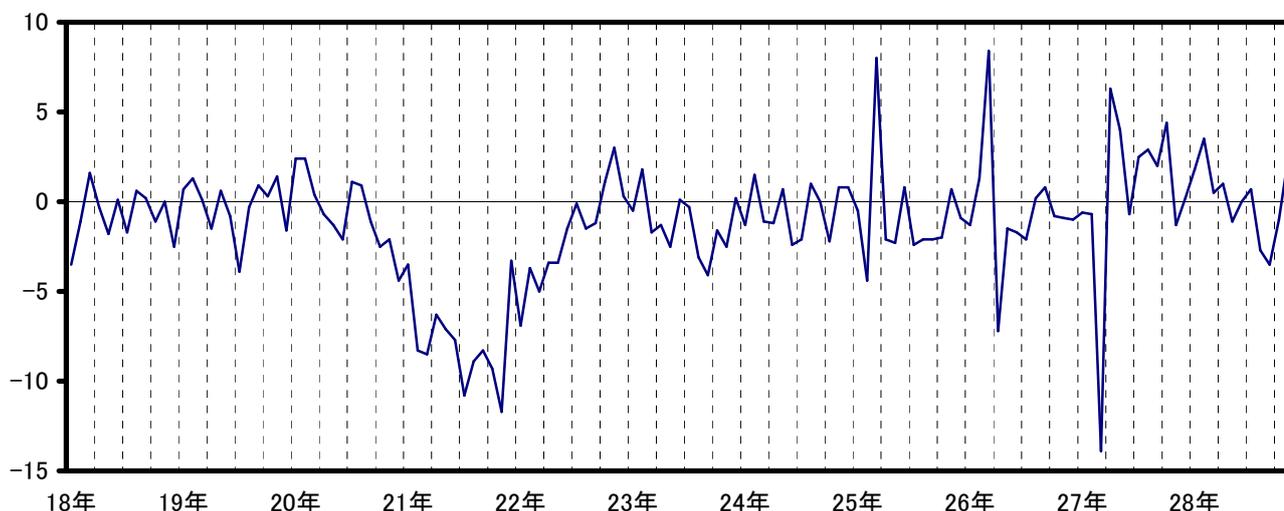
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

11月 = 6,522百万円

*前年同月比： 0.6%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

11月の県内3百貨店の販売額は6,522百万円で、前年同月比 0.6%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、身の回り品（前年同月比 4.3%増）、家庭用品（同 2.6%増）がいずれも4か月ぶり、食料品（同 0.5%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品（同 2.2%減）が13か月連続、雑貨（同 0.7%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	5,726	5,788	5,860	7,052	5,008	5,074	6,194	6,522
前年同月比（%）	▲ 2.5	▲ 5.1	▲ 3.4	1.1	▲ 5.8	▲ 5.3	▲ 2.7	▲ 0.6
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 3.8	▲ 5.1	▲ 3.5	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 5.0	▲ 3.9	▲ 2.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

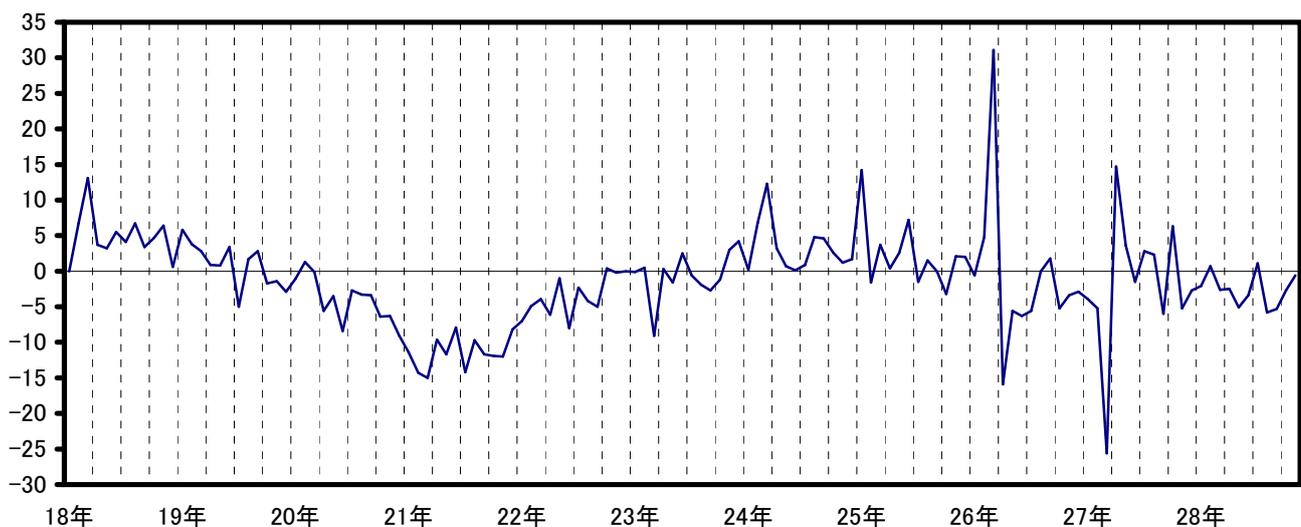
	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	▲ 5.4	▲ 12.2	▲ 5.3	▲ 1.6	▲ 12.5	▲ 8.4	▲ 5.2	▲ 2.2
うち紳士服・洋品	▲ 7.8	▲ 8.2	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 23.0	▲ 9.7	▲ 6.3	▲ 4.0
婦人服・洋品	▲ 5.8	▲ 12.9	▲ 2.6	0.3	▲ 10.2	▲ 7.8	▲ 4.3	▲ 1.5
子供服・洋品	6.3	▲ 11.2	▲ 17.3	▲ 8.2	▲ 15.4	▲ 18.3	▲ 7.1	▲ 4.2
身の回り品	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 1.0	5.4	▲ 4.2	▲ 4.6	▲ 1.8	4.3
家庭用品	▲ 28.4	▲ 3.1	▲ 15.6	9.3	▲ 1.9	▲ 2.1	▲ 17.1	2.6
食料品	2.7	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 2.1	2.5	▲ 4.9	▲ 1.6	0.5
雑貨	10.1	11.4	5.2	8.4	▲ 4.5	0.3	8.4	▲ 0.7
うち美術・宝飾・貴金属	0.3	2.6	▲ 7.1	▲ 11.0	▲ 21.4	▲ 16.0	4.9	▲ 6.9

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

11月 = 62,796百万円

*前年同月比： 2.4%増

(県内90家電大型専門店、1,757コンビニエンスストア、444ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

11月の専門量販店等販売額は62,796百万円で、前年同月比2.4%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 0.7%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同 3.2%増）が5か月連続、ドラッグストア（同 2.6%増）が20か月連続、ホームセンター（同 1.7%増）が4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	34,569	36,059	35,269	72,320	69,029	61,540	64,309	62,796
前年同月比(%)	5.2	0.2	3.4	4.1	▲0.4	2.2	2.7	2.4
うち 家電大型専門店(%)	0.5	▲1.3	7.1	0.1	▲11.7	2.5	4.3	▲0.7
コンビニエンスストア(%)	—	—	—	3.8	1.3	3.2	3.7	3.2
ドラッグストア(%)	8.3	2.8	3.9	5.6	3.5	3.1	2.0	2.6
ホームセンター(%)	3.1	▲3.7	▲1.0	6.7	▲2.5	▲3.8	▲0.2	1.7
(参考)全国前年同月比(%)	4.6	0.5	3.1	3.8	0.0	2.3	3.3	2.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

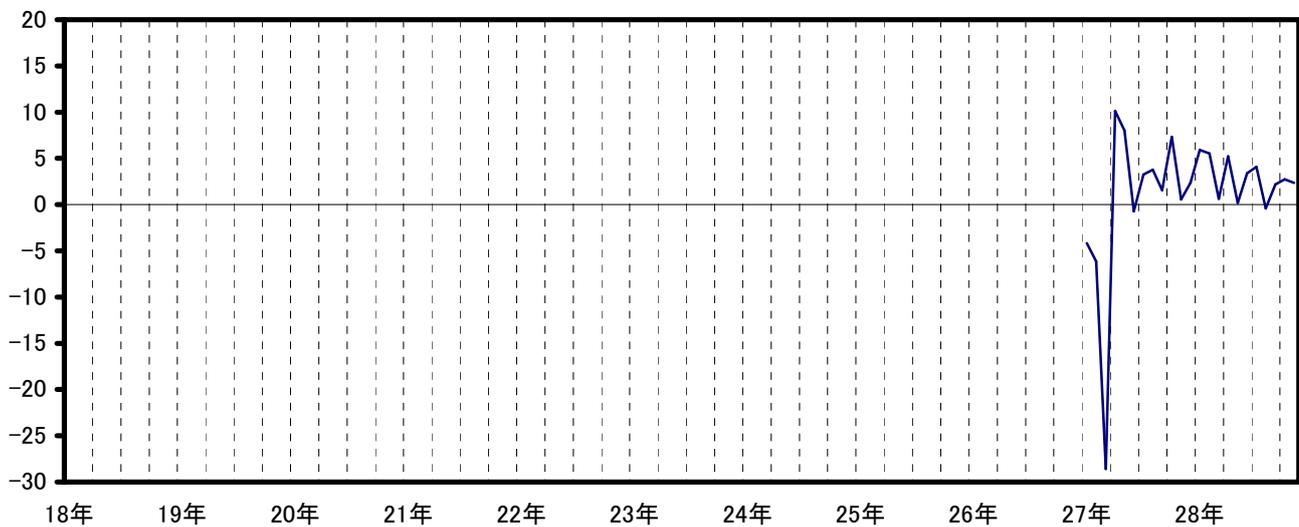
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

11月 = 13,638台

*前年同月比： 4.6%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

11月の自動車(新車)新規登録台数は13,638台(前年同月比 4.6%増)となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(同 11.7%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車(同 3.8%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登録台数(台)	10,428	11,198	14,201	13,630	11,137	16,342	12,513	13,638
前年同月比(%)	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1	2.3	2.8	▲ 2.8	4.6
(参考)全国前年同月比(%)	2.2	▲ 1.4	▲ 5.6	▲ 2.2	2.9	▲ 0.7	▲ 0.1	8.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

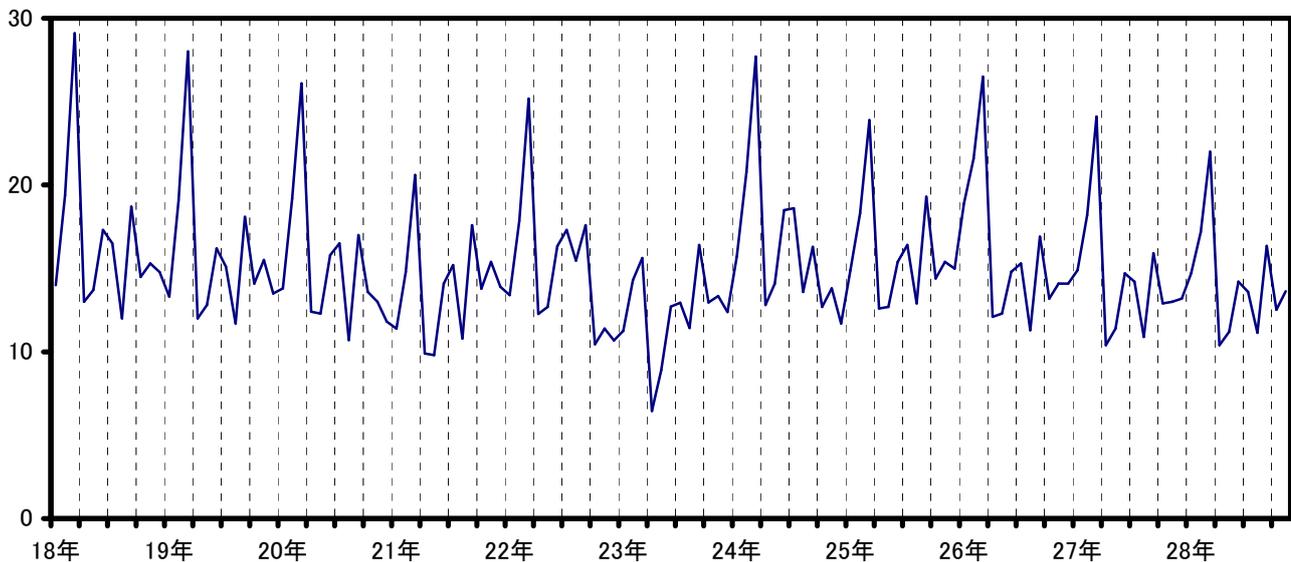
	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全乗用車	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1	2.3	2.8	▲ 2.8	4.6
乗用車	11.6	6.6	5.5	▲ 1.1	3.3	3.8	0.2	11.7
軽自動車	▲ 11.5	▲ 12.2	▲ 14.3	▲ 8.0	1.0	1.7	▲ 6.6	▲ 3.8

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

11月 = 2,213戸

*前年同月比： 2.9%減

<概況>

11月の新設住宅着工戸数は2,213戸で、前年同月比 2.9%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 19.4%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 14.5%減）が2か月連続、分譲住宅（同 3.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

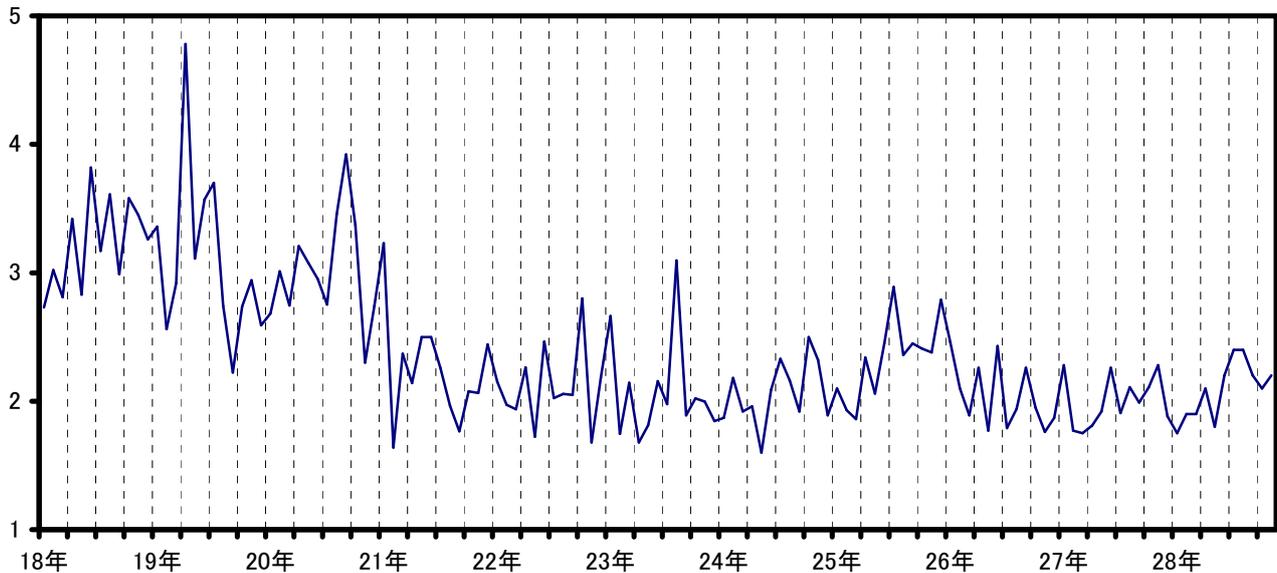
	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
戸数（戸）	2,096	1,817	2,195	2,356	2,405	2,179	2,084	2,213
前年同月比（%）	16.1	▲ 5.1	▲ 2.7	23.5	14.3	9.7	▲ 1.4	▲ 2.9
うち持家（%）	▲ 9.4	▲ 0.3	▲ 12.5	13.9	7.4	6.0	▲ 3.9	▲ 14.5
貸家（%）	33.8	21.7	▲ 6.5	28.3	10.9	63.3	▲ 14.4	19.4
分譲住宅（%）	90.6	▲ 44.0	24.4	53.0	50.4	▲ 43.9	48.3	▲ 3.6
(参考)全国前年同月比（%）	9.0	9.8	▲ 2.5	8.9	2.5	10.0	13.7	6.7

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

11月 = 14,204百万円

*前年同月比：10.0%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

11月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は14,204百万円で、前年同月比10.0%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は657件で、前年同月比11.7%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額(百万円)	50,393	19,103	22,745	28,013	29,515	50,377	19,292	14,204
前年同月比(%)	28.7	▲19.8	▲5.4	▲7.1	14.8	47.9	▲40.0	▲10.0
年度累計前年同月比(%)	28.7	10.3	6.0	2.6	4.8	13.1	4.9	3.9
件数(件)	478	393	631	818	885	1,445	657	657
前年同月比(%)	3.7	8.3	5.9	▲5.1	11.7	27.4	▲30.1	▲11.7
年度累計前年同月比(%)	3.7	5.7	5.8	1.7	4.3	10.5	3.1	1.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

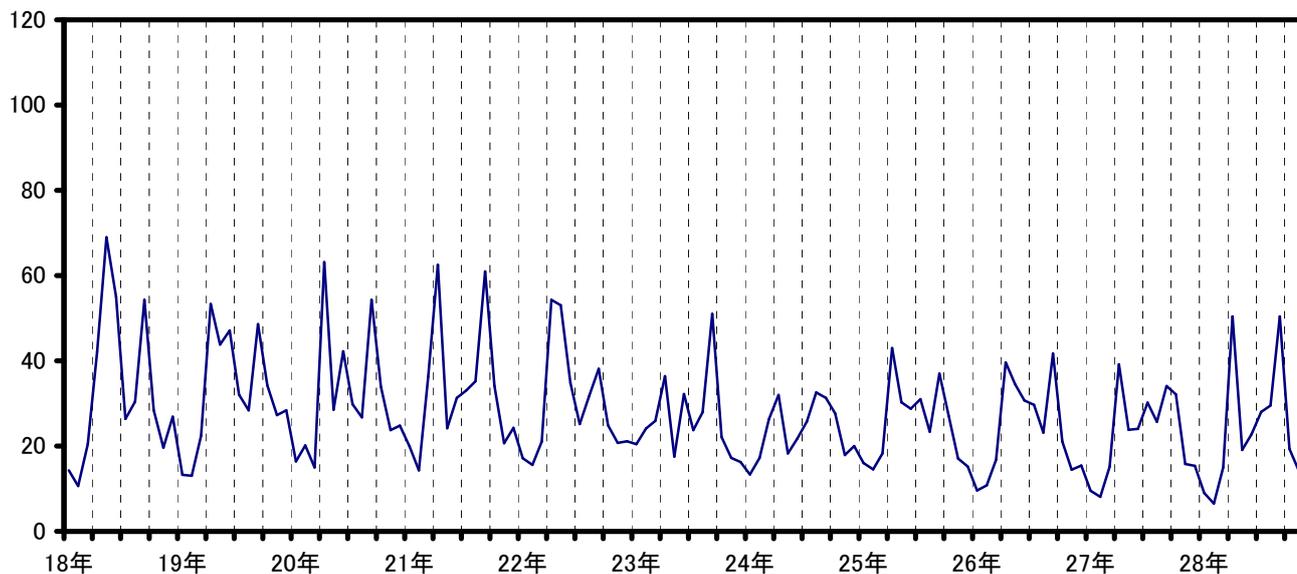
	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	84.8	4.4	▲64.0	▲47.0	121.1	162.8	▲55.6	▲35.0
独立行政法人等	103.0	▲17.8	40.3	210.7	▲98.3	578.0	▲37.1	291.0
県	15.7	▲27.1	▲3.0	▲30.4	44.7	20.0	1.9	5.5
市町	▲15.0	▲32.5	10.0	10.8	0.0	41.9	▲42.0	▲20.6
地方公社	—	9,445.5	—	—	▲41.9	▲43.5	292.5	▲62.4
その他	98.8	▲20.0	0.8	▲16.6	11.3	▲63.5	▲93.3	▲10.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成27年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 17.1%増）、非製造業（同 1.8%増）ともに増加したことから、全産業（同 9.6%増）でも増加となった。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 8.4%増）、非製造業（同 0.7%増）ともに増加、全産業（同 4.9%増）でも増加する計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は142,379㎡で、前年同月比 29.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比% （ ）内は前回調査比修正率）

		27年度 (実績)	28年度 (計画)		28年度 (計画)	28年度 (計画)	
			上期 (実績)	下期 (実績)		上期 (実績)	下期 (計画)
全産業	県	9.6	13.4	6.5	(▲1.8) 4.9	(▲2.1) 1.9	(▲1.5) 7.4
	全国	5.0	4.2	5.6	(0.2) 1.8	(▲5.4) 2.5	(4.9) 1.3
製造業	県	17.1	22.7	13.2	(▲4.7) 8.4	(▲7.8) ▲0.5	(▲2.7) 15.0
	全国	9.1	7.1	10.7	(▲0.5) 5.6	(▲8.1) 4.6	(6.0) 6.3
非製造業	県	1.8	5.3	▲1.3	(2.3) 0.7	(4.1) 4.3	(0.4) ▲2.9
	全国	2.9	2.7	3.1	(0.6) ▲0.1	(▲3.8) 1.5	(4.3) ▲1.3

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年12月調査)」

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	89,979	67,384	99,402	108,356	186,104	171,169	77,988	142,379
前年同月比（%）	▲14.4	▲32.6	▲25.2	10.6	105.9	35.1	▲45.6	29.2
(参考) 全国前年同月比（%）	▲22.0	19.0	4.2	▲19.1	16.7	10.8	▲3.7	10.4

(注) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年9月	28年12月	29年3月 (予測)
全産業	1	8	0
製造業	0	7	4
非製造業	3	10	▲4
(参考) 全国・全産業	5	7	2

(注) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年12月調査)」

5 輸出

11月 = 163,346百万円

*前年同月比： 5.9%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は163,346百万円で、前年同月比 5.9%増となり、9か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 3.4%減）が3か月連続、科学光学機器（同 5.6%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 11.8%増）が3か月ぶり、自動車（同 26.8%増）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 15.4%増）が3か月連続、二輪自動車類（同 16.5%増）が6か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 7.3%減）が8か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 11.2%増）が2か月ぶり、EU向け（同 32.2%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額(百万円)	167,022	139,497	156,025	160,716	145,084	164,289	157,569	163,346
前年同月比(%)	▲ 3.1	▲ 4.8	▲ 7.7	▲ 11.7	▲ 8.9	▲ 3.0	▲ 8.6	5.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	5.3	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 1.2	2.7	▲ 5.5	▲ 11.6	11.8
エアコン	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 6.7	20.5	28.9	▲ 11.9	▲ 11.1	▲ 3.4
自動車	▲ 9.5	▲ 34.3	▲ 1.2	▲ 38.7	▲ 41.0	87.9	▲ 17.1	26.8
自動車の部分品	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 9.3	▲ 8.7	▲ 2.8	11.2	1.3	15.4
二輪自動車類	14.1	14.2	▲ 11.1	▲ 9.2	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 3.3	16.5
科学光学機器	6.5	▲ 8.0	10.0	▲ 24.6	▲ 12.2	▲ 10.4	▲ 14.6	▲ 5.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	▲ 4.1	▲ 4.6	▲ 2.1	▲ 13.7	1.0	4.7	▲ 5.6	11.2
米国	▲ 5.6	▲ 14.7	▲ 7.1	▲ 5.4	▲ 14.7	▲ 7.0	▲ 6.4	▲ 7.3
EU	18.1	27.4	▲ 7.6	4.0	1.7	0.3	0.1	32.2

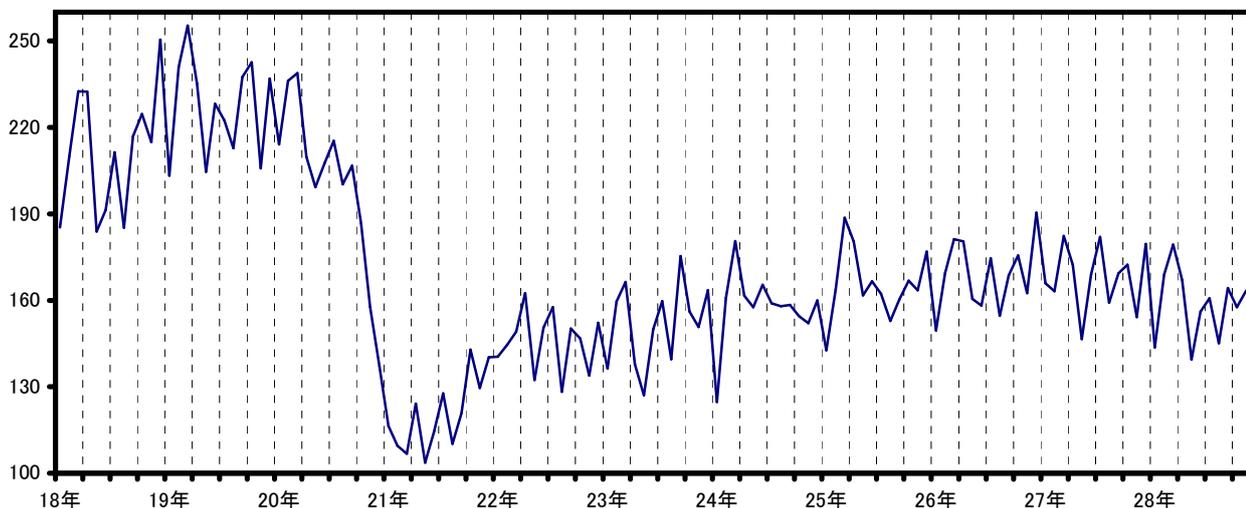
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

11月 = 81,962百万円

*前年同月比： 0.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は81,962百万円で、前年同月比 0.4%増となり、12か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 30.0%減）、パルプ（同 46.8%減）がいずれも11か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類（同 19.7%増）が6か月ぶり、紙類及び同製品（同 2.6%増）、原動機（同 15.8%増）がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品（同 13.5%増）が10か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 5.9%減）が3か月連続、米国から（同 28.2%減）が9か月連続で前年実績を下回ったものの、EUから（同 6.1%増）が11か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額(百万円)	70,712	78,990	70,881	67,656	75,303	73,505	70,558	81,962
前年同月比(%)	▲ 21.6	▲ 0.7	▲ 13.3	▲ 21.5	▲ 4.5	▲ 9.8	▲ 17.0	0.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚 介 類	▲ 6.9	13.5	▲ 13.8	▲ 0.2	▲ 6.5	▲ 14.4	▲ 8.9	19.7
木 材	▲ 34.4	▲ 10.7	▲ 15.0	▲ 19.8	▲ 8.3	▲ 7.5	▲ 13.1	▲ 30.0
パ ル プ	▲ 29.6	▲ 9.0	▲ 27.5	▲ 45.8	▲ 23.9	▲ 13.3	▲ 27.8	▲ 46.8
紙 類 及 び 同 製 品	▲ 6.7	▲ 1.2	24.8	▲ 3.9	1.1	30.2	▲ 6.7	2.6
原 動 機	▲ 55.3	39.9	53.7	45.7	169.5	13.1	▲ 6.4	15.8
自 動 車 の 部 分 品	▲ 42.7	▲ 37.7	▲ 26.3	▲ 42.5	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 28.5	13.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

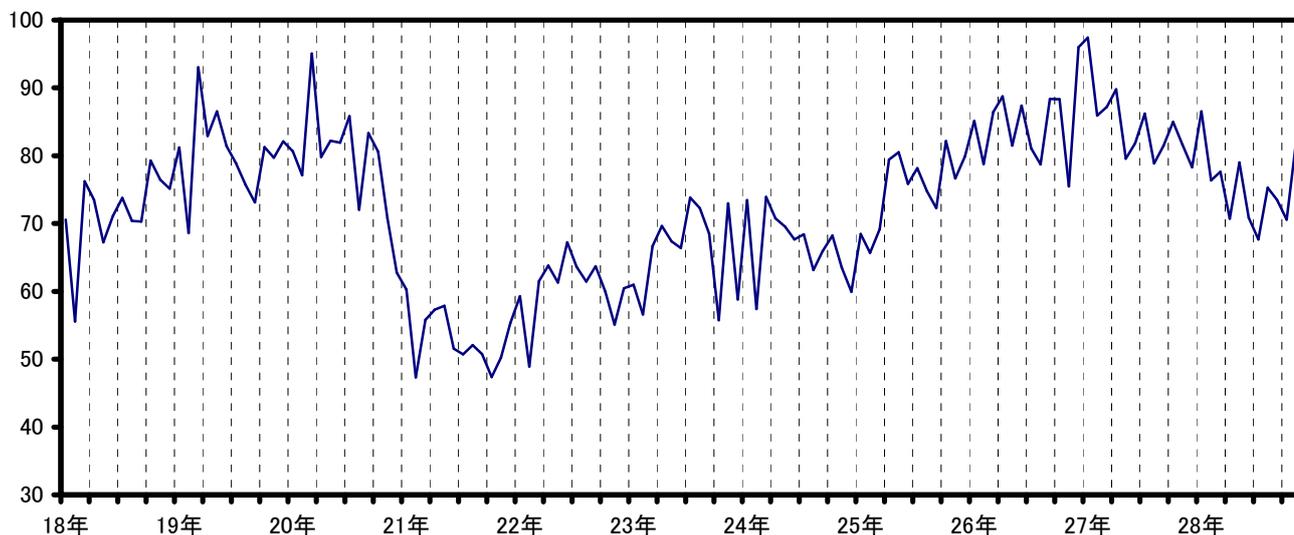
	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ア ジ ア	▲ 11.3	1.2	▲ 10.5	▲ 16.8	0.2	▲ 8.7	▲ 19.6	▲ 5.9
米 国	▲ 18.1	▲ 14.9	▲ 10.0	▲ 25.9	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 16.6	▲ 28.2
E U	▲ 35.4	▲ 19.6	▲ 23.1	▲ 7.8	▲ 4.4	▲ 31.7	▲ 1.7	6.1

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

10月 = 86.9

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.1%減

*前年同月比(原指数) : 5.8%減

<概況>

10月の鉱工業生産指数(総合)は86.9(季節調整済指数)で、前月比3.1%減となり、2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は5.8%減と2か月連続で前年を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比12.5%減)、パルプ・紙・紙加工品(同1.0%減)、食料品・たばこ(同5.2%減)がいずれも2か月連続、電気機械(同9.6%減)が9か月ぶり、輸送機械(同9.5%減)が20か月連続、化学(同1.8%減)が3か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	89.3	93.0	86.8	88.8	88.3	90.0	89.7	86.9
前月比(%)	0.3	4.1	▲6.7	2.3	▲0.6	1.9	▲0.3	▲3.1
前年同月比(%)	▲4.7	▲1.6	▲0.4	▲4.1	▲5.4	4.5	▲1.2	▲5.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.2	▲3.5	▲0.1	▲1.9	▲3.8	4.6	0.9	▲1.3

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲3.3	▲0.5	▲3.4	3.1	▲4.6	11.5	▲4.1	▲12.5
電気機械工業	12.8	2.8	7.5	7.1	2.5	15.9	2.2	▲9.6
輸送機械工業	▲30.6	▲11.7	▲8.9	▲15.1	▲11.9	▲4.0	▲7.3	▲9.5
化学工業	41.5	16.7	17.3	5.8	▲4.8	8.7	6.4	▲1.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.6	▲2.1	▲0.4	▲4.3	▲3.2	6.7	▲3.0	▲1.0
食料品・たばこ工業	▲2.8	▲3.6	▲3.9	▲10.6	▲4.9	1.3	▲1.2	▲5.2

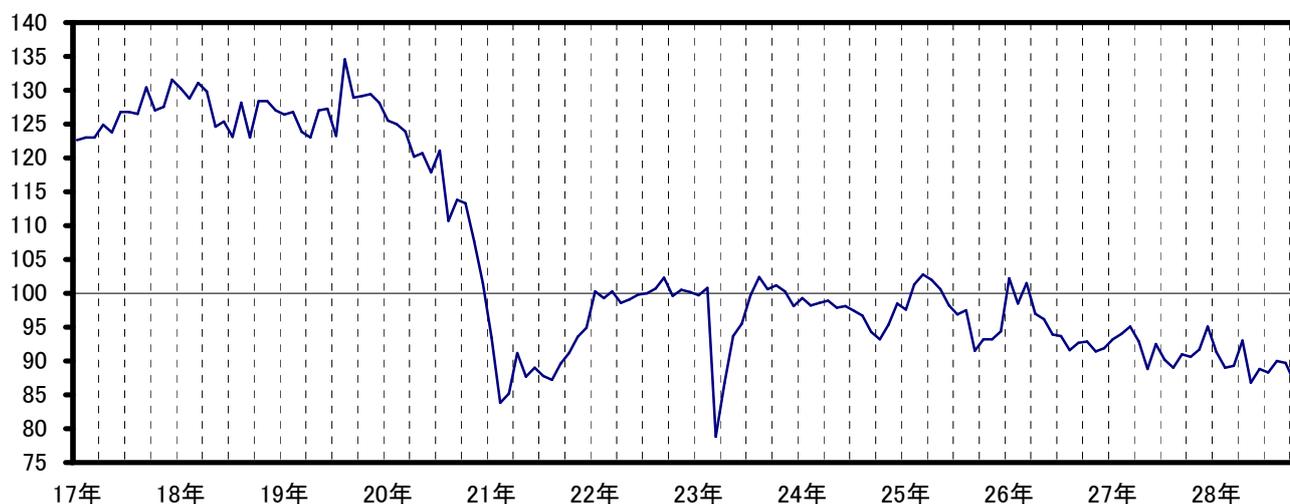
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

10月 = 114.7

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.9%減

*前年同月比(原指数) : 4.8%減

<概況>

10月の鋳工業在庫指数(総合)は114.7(季節調整済指数)で、前月比は0.9%減と3か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は4.8%減と2か月連続で前年を下回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.1%増)が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同7.2%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同16.5%減)、化学(同3.5%減)がいずれも2か月連続、輸送機械(同42.2%減)が7か月連続、食料品・たばこ(同3.5%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	125.9	121.9	118.2	116.4	119.5	119.3	115.7	114.7
前月比(%)	0.7	▲3.2	▲3.0	▲1.5	2.7	▲0.2	▲3.0	▲0.9
前年同月比(%)	12.3	9.1	6.0	0.0	4.1	2.1	▲2.0	▲4.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.2	0.1	0.6	0.0	▲1.8	▲1.8	▲2.0	▲3.0

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲8.5	2.6	2.4	0.4	6.0	0.8	6.6	7.1
電気機械工業	24.8	16.7	14.6	25.5	26.9	21.3	▲8.5	▲16.5
輸送機械工業	41.3	▲0.4	▲10.1	▲24.9	▲11.8	▲19.6	▲34.2	▲42.2
化学工業	14.1	13.6	4.2	1.3	3.5	0.1	▲1.6	▲3.5
パルプ・紙・紙加工品工業	6.0	1.9	1.8	▲4.2	▲3.1	1.5	0.0	7.2
食料品・たばこ工業	▲3.4	▲14.1	▲9.5	▲12.0	▲2.8	▲9.0	0.4	▲3.5

(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

11月 = 1.41倍

*前月比（季節調整値）：0.02ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

11月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.41倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、全国値と同水準となった。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比16.4%増）は10か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比13.2%減）が13か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業（同14.3%増）が10か月連続、製造業（同15.7%増）が13か月連続、運輸業・郵便業（同18.8%増）が2か月ぶり、卸売業・小売業（同2.6%増）が2か月連続、医療・福祉（同10.2%増）が3か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同62.7%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県	1.36	1.35	1.34	1.36	1.34	1.36	1.39	1.41
全 国	1.34	1.36	1.37	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建 設 業	5.1	6.3	5.1	3.4	6.0	8.7	1.9	14.3
製 造 業	9.2	8.9	6.6	2.8	16.7	27.5	20.9	15.7
情 報 通 信 業	▲ 32.0	▲ 40.3	▲ 14.8	▲ 12.5	▲ 52.6	▲ 28.7	▲ 39.2	▲ 13.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 5.2	12.6	▲ 5.9	7.6	3.9	2.4	▲ 3.7	18.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	12.0	64.3	6.6	11.5	57.1	▲ 10.9	19.0	2.6
医 療 ・ 福 祉	5.2	▲ 3.8	▲ 0.5	7.2	▲ 3.9	1.6	13.5	10.2
サービス業（他に分類されないもの）	20.0	15.8	13.0	3.0	29.9	2.2	12.9	62.7
合 計	5.6	9.1	2.4	3.7	11.0	4.2	7.9	16.4

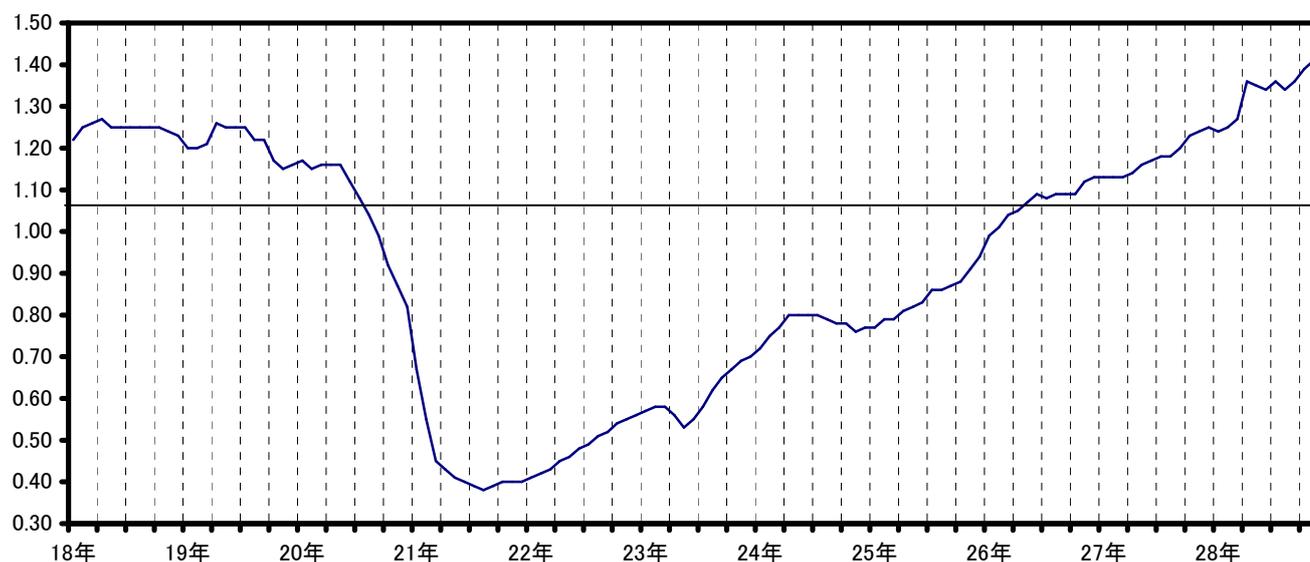
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

11月 = 11,593人

*前月比: 4.7%減

*前年同月比: 10.8%減

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は11,593人で、前月比は4.7%減と3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は10.8%減と40か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.1%で、前月から0.1ポイント悪化した。

静岡県(平成28年7~9月)の完全失業率は2.4%で、前期(28年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	11,113	11,955	12,519	12,580	13,302	12,696	12,170	11,593
前月比(%)	▲4.8	7.6	4.7	0.5	5.7	▲4.6	▲4.1	▲4.7
前年同月比(%)	▲12.8	▲13.2	▲14.0	▲15.9	▲10.2	▲12.7	▲11.5	▲10.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲8.9	▲5.5	▲7.5	▲10.5	▲3.7	▲8.0	▲9.3	▲7.9

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1

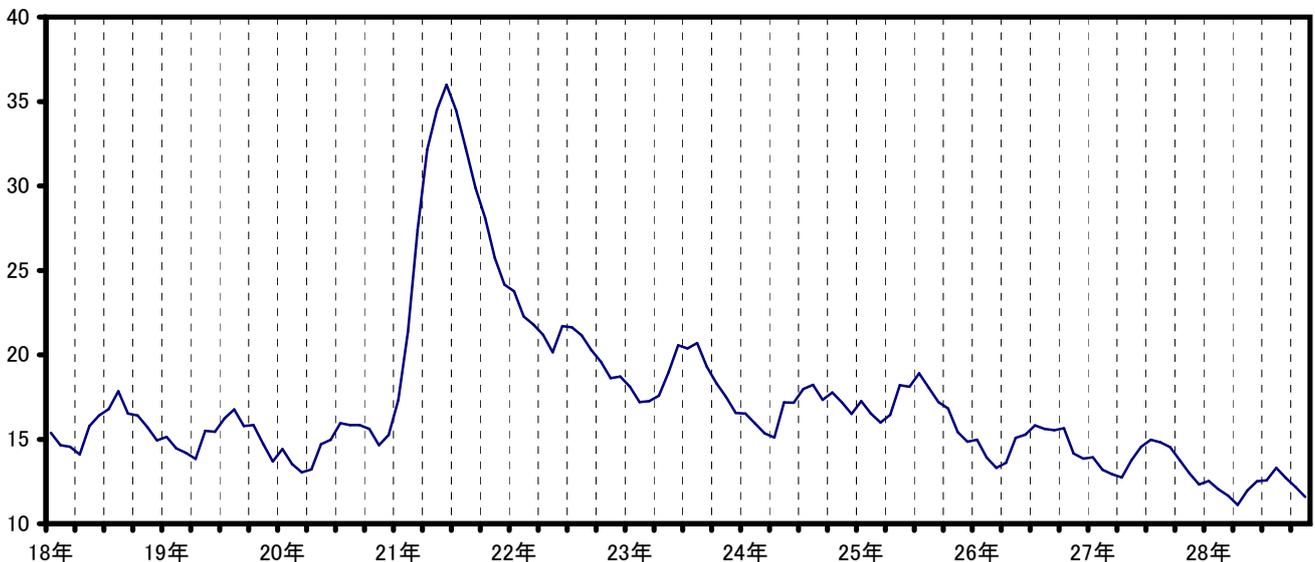
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

10月 = 113.6

*前月比(季節調整済指数): 1.8%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 0.7%増

<概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は113.6(季節調整済指数)で、前月比1.8%増となった。また、前年同月比(原指数)は0.7%増となり、2か月連続で前年を上回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比4.5%減)、運輸業・郵便業(同5.3%減)、医療・福祉(同7.2%減)がいずれも2か月ぶり、情報通信業(同10.9%減)が2か月連続、卸売業・小売業(同31.1%減)が4か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同15.4%増)が3か月ぶり、その他のサービス業(同5.3%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	107.1	112.5	115.5	114.8	112.8	105.9	111.6	113.6
前月比(%)	▲3.9	5.0	2.7	▲0.6	▲1.7	▲6.1	5.4	1.8
前年同月比(%)	▲2.0	5.5	9.9	7.2	5.9	▲0.8	1.4	0.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.7	▲0.7	▲2.4	▲0.8	▲1.6	▲2.5	▲1.6	▲1.5

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	▲33.9	▲37.5	▲13.5	▲0.6	13.7	▲9.7	0.0	15.4
製造業	▲7.0	3.8	1.8	▲2.2	2.2	▲1.1	0.0	▲4.5
情報通信業	▲9.1	5.4	4.9	1.1	▲9.1	1.3	▲13.6	▲10.9
運輸業・郵便業	▲9.9	1.3	2.1	▲4.3	2.9	▲2.1	3.2	▲5.3
卸売業・小売業	11.4	0.0	15.5	0.0	▲26.8	▲17.6	▲29.6	▲31.1
医療・福祉	6.9	14.9	9.9	20.3	4.3	▲4.4	9.1	▲7.2
その他のサービス業	▲1.6	▲7.7	6.8	8.6	3.2	13.2	▲7.2	5.3
調査産業計	▲2.0	5.5	9.9	7.2	5.9	▲0.8	1.4	0.7

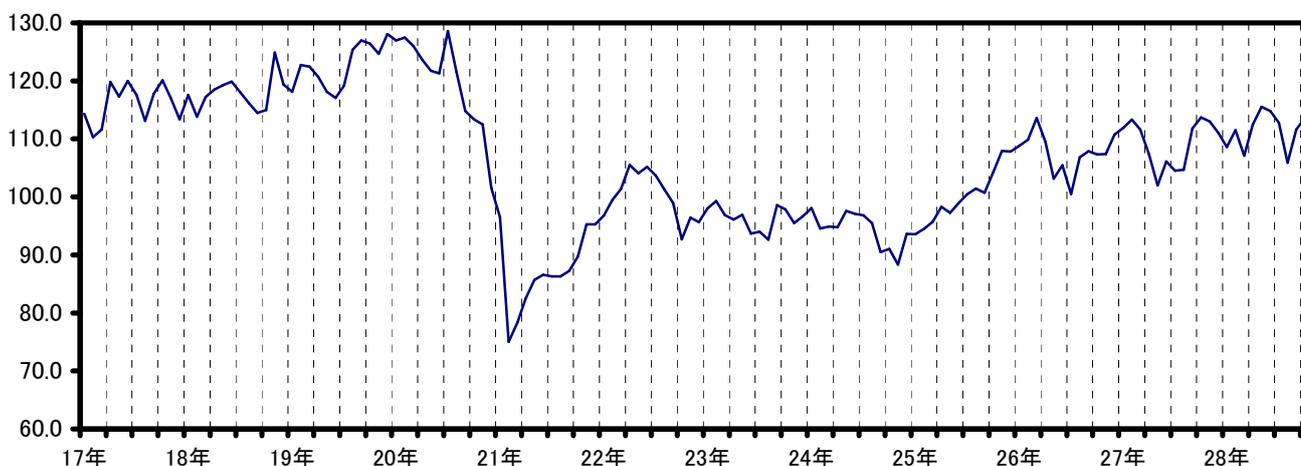
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

12月 = 99.7

(平成22年=100)

*前月比: 0.6%上昇

*前年同月比: 1.2%下落

<概況>

12月の国内企業物価指数は99.7となり、前月比は0.6%の上昇となった。また、前年同月比は1.2%の下落となった。

<最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	99.3	99.2	99.2	98.9	98.8	98.7	99.1	99.7
前月比 (%)	0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.3	0.0	▲ 0.1	0.4	0.6
前年同月比 (%)	▲ 4.3	▲ 4.2	▲ 3.9	▲ 3.6	▲ 3.2	▲ 2.7	▲ 2.2	▲ 1.2

*平成22年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

11月 = 137,258億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.6%増

*前年同月比: 2.4%増

<概況>

11月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は137,258億円で、前月比は0.6%の増加となり、前年同月比は2.4%の増加となった。

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出残高(億円)	135,831	135,574	136,065	136,020	135,981	137,793	136,468	137,258
前月比 (%)	▲ 1.6	▲ 0.2	0.4	0.0	0.0	1.3	▲ 1.0	0.6
前年同月比 (%)	2.3	2.2	2.5	2.7	2.7	2.2	2.1	2.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

11月 = 2.146%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.006ポイント減

*前年同月差: 0.022ポイント減

<概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.146%で、前月から0.006ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.022ポイントのマイナスとなった。

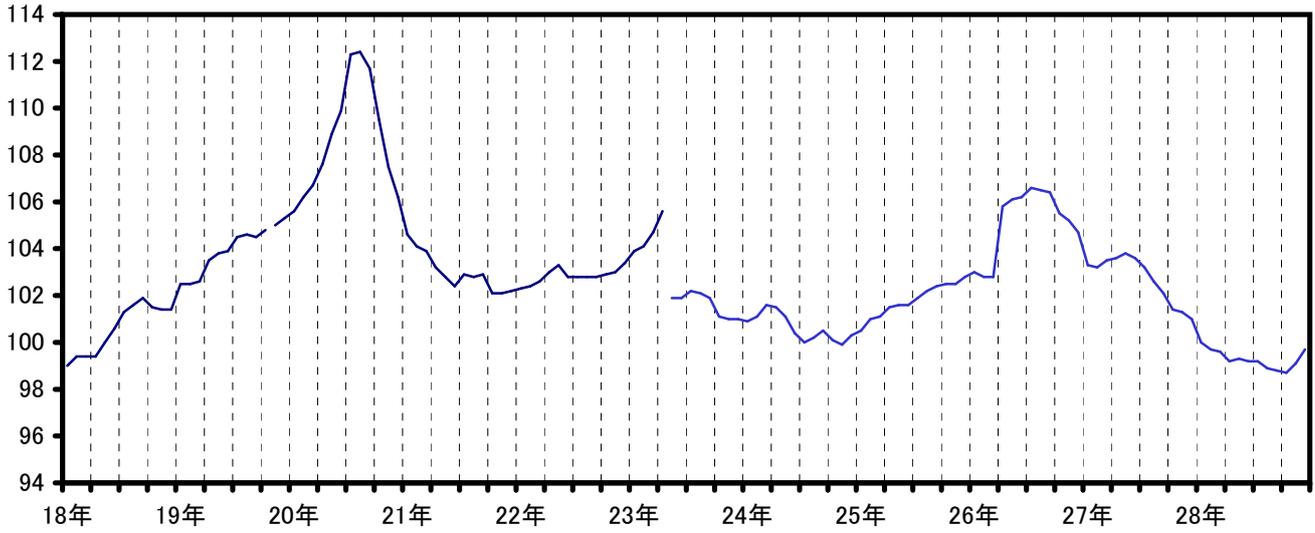
	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	2.156	2.152	2.153	2.155	2.154	2.144	2.152	2.146
前月差(ポイント)	0.011	▲ 0.004	0.001	0.002	▲ 0.001	▲ 0.010	0.008	▲ 0.006
前年同月差(ポイント)	0.019	0.015	0.000	▲ 0.004	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.014	▲ 0.022

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

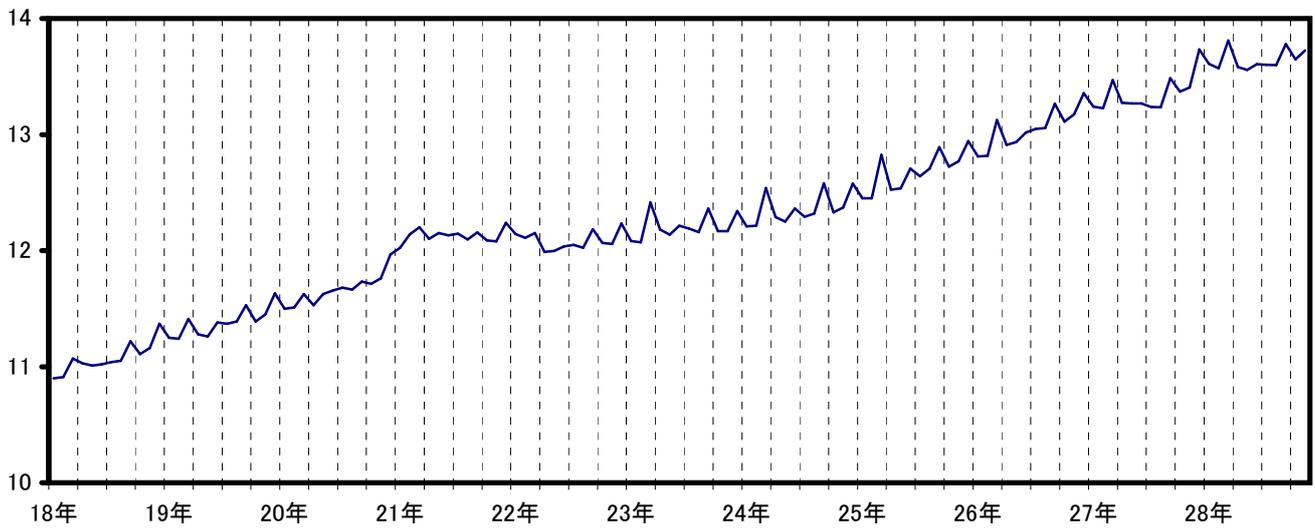
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



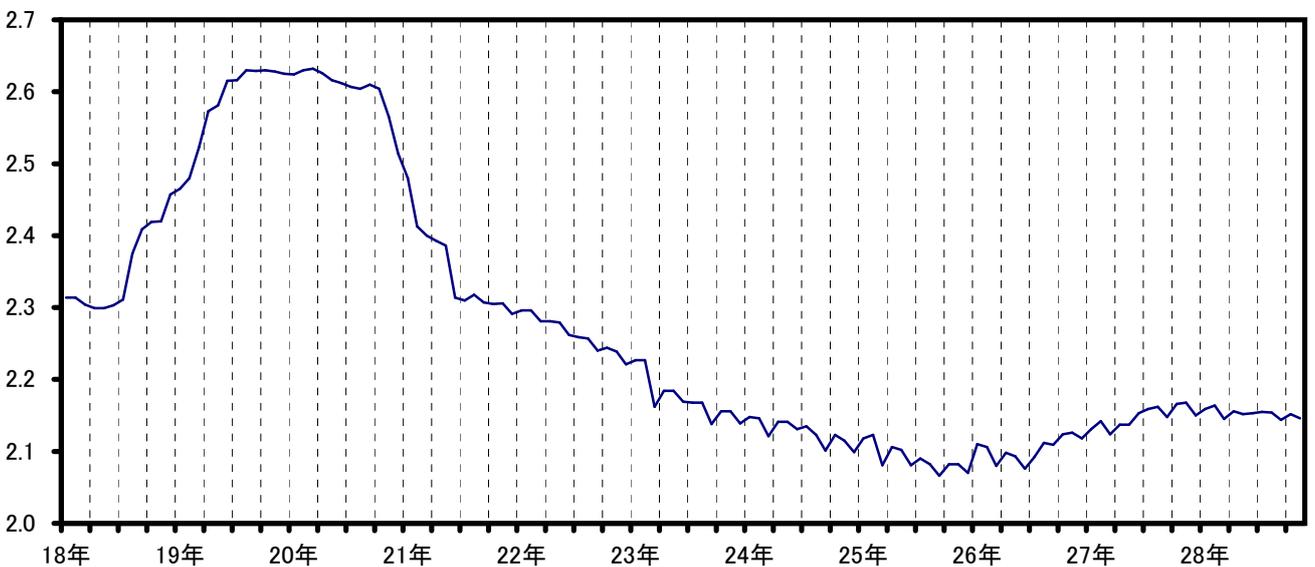
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**11月 = 19,296百万円**

*前年同月比： 同水準

<概況>

11月の保証承諾は、金額が19,296百万円と前年と同水準となり、件数は1,888件（同6.3%減）と20か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
保証金額(百万円)	14,208	17,302	23,147	20,714	22,578	23,295	17,045	19,296
前年同月比(%)	▲15.9	0.0	▲3.5	▲5.9	10.9	▲10.1	▲14.2	0.0
保証件数(件)	1,600	1,835	2,324	2,009	2,172	2,319	1,781	1,888
前年同月比(%)	▲13.8	▲6.2	▲11.9	▲15.1	▲2.7	▲12.0	▲16.9	▲6.3

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**12月 = 115.95円/ドル**

*前月差： 7.77円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 5.89円高

<概況>

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は115.95円で、前月と比べて7.77円の円安となり、4か月連続の円安となった。

<最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場(円)	109.15	105.49	103.90	101.27	102.04	103.82	108.18	115.95
前月差(円)	▲0.73	▲3.66	▲1.59	▲2.63	0.77	1.78	4.36	7.77
前年同月差(円)	▲11.59	▲18.26	▲19.33	▲21.96	▲18.18	▲16.24	▲14.36	▲5.89

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****12月 = 35件**

*前年同月比： 84.2%増

<概況>

12月の負債総額1,000万円以上の企業倒産件数は35件（前年同月比84.2%増）、負債総額は5,704百万円（同60.7%増）となり、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が34件と全体の97.1%を占め、229か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

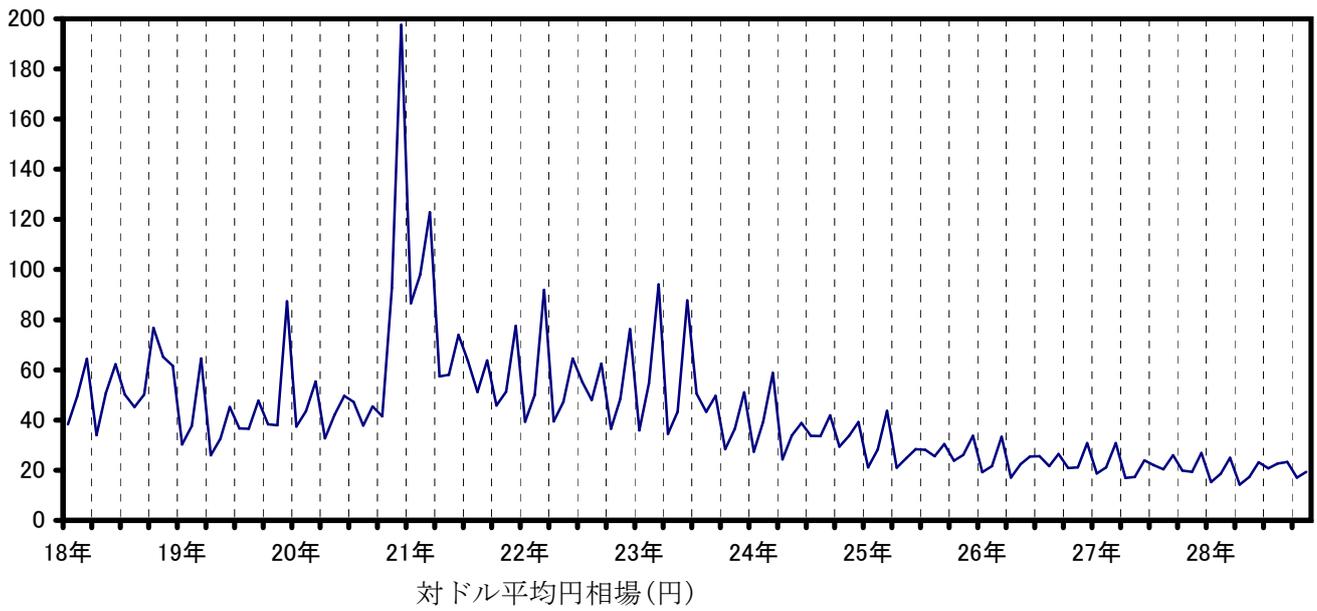
	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数(件)	35	31	36	19	22	13	19	35
前年同月比(%)	66.6	47.6	56.5	5.5	▲18.5	▲27.7	▲20.8	84.2
うち不況型倒産件数(件)	33	27	33	18	19	12	19	34
負債総額(百万円)	8,797	5,095	8,498	2,065	2,315	1,631	2,049	5,704
前年同月比(%)	205.6	▲40.7	113.2	8.7	▲30.7	▲54.5	▲61.8	60.7

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

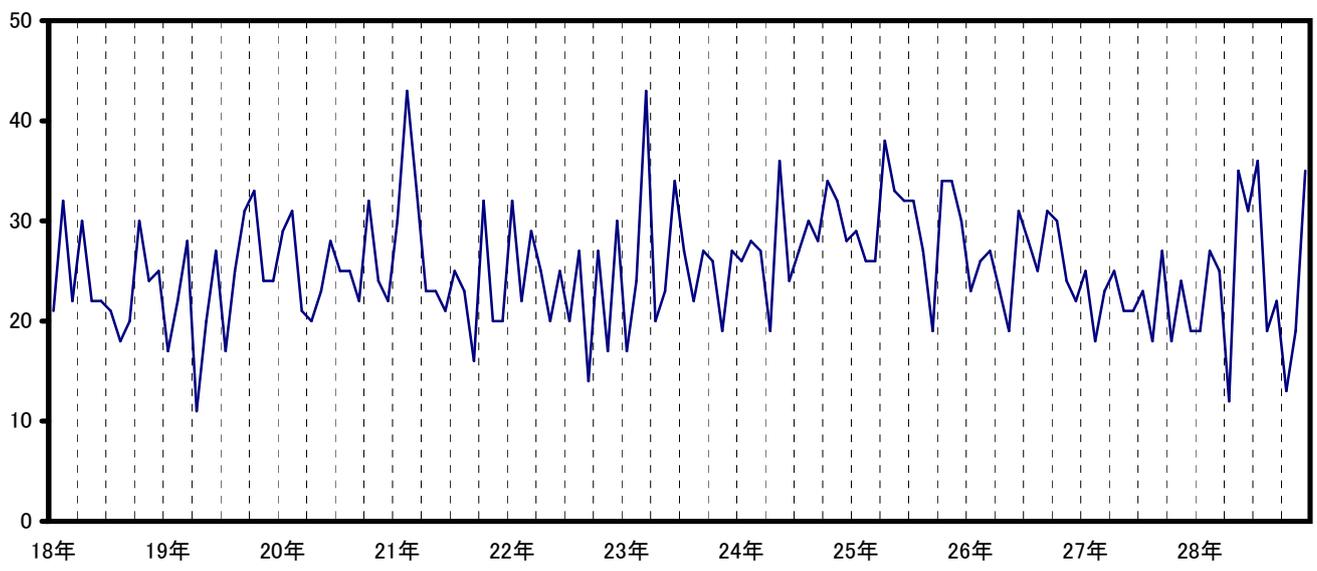
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成28年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>11月の国内二輪車生産台数は、65,411台（前年同月比 40.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、13,229台（同 74.8%増）と3か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,464台（同 44.3%増）、軽二輪車（126cc～250cc）は、7,136台（同 21.3%増）、小型二輪車（251cc以上）は、41,582台（同 35.6%増）と全て前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは32,842台（同 28.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>輸出向けも、42,169台（同 27.5%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>11月の自動車国内生産台数は840,330台（前年同月比 6.6%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、輸出は422,981台（同 2.0%増）となり、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが3か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電 気 機 械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は320億6,400万円（前年同月比 25.6%増）、国内出荷台数は270千台（同 21.3%増）となり、ともに2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは427千台（同 10.3%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は64千台（同 9.9%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>10月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,537千台（同 6.9%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、冬春モデルの出荷が始まったことにより、1,086千台（同 22.0%増）と2か月連続で前年を上回った。単月のスマートフォン比率は70.7%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生 産 用 機 械	<p>11月の工作機械の受注総額は、1,079億3,100万円（前年同月比 5.6%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は629億6,700万円（同 8.6%減）で、18か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが230億1,000万円（同 19.9%減）と18か月連続で、北米向けが173億9,400万円（同 29.6%減）と2か月連続で前年実績を下回った。内需は449億6,400万円（同 1.1%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、組合員ごとの景況格差が拡大傾向にあり、アメリカ大統領選の結果を含む先行き不透明感から設備投資の繰り延べや、様子見の動きも見られるとの声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、51億2,000万円（前年同月比 10.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが24億5,300万円（同 18.2%減）で、国内向けが26億6,800万円（同 1.7%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,965台（同 7.5%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,019台（同 10.9%増）、グランドピアノが946台（同 1.1%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,585台（同 8.5%減）、国内向けが1,547台（同 10.2%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、2,169千トﾝ（前年同月比 2.3%増）で、前月の減少から増加に転じ、前年実績を上回った。内訳は、紙は1,177千トﾝ（同 1.2%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。板紙は992千トﾝ（同 3.5%増）、前月の減少から増加に転じ、前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、657千トﾝ（同 2.1%増）で、前月の減少から増加に転じ、前年実績を上回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、159千トﾝ（同 4.5%増）と、前月の減少から増加に転じ、前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>11月の県内生産量は、食缶類が国内向け970千箱（前年同月比 0.4%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は714千箱（同 3.5%減）と4か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は523千箱（同 4.0%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は256千箱（同 13.3%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,641千箱（同 1.9%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>11月の広幅織物の県内生産は、1,693千㎡（前年同月比 5.8%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,646千㎡（同 5.9%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、47千㎡（同 0.4%減）で、こちらも4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、32千㎡（同 21.3%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、55億1,461万円（前年同月比 10.8%減）と9か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、586億9,086万円（同 3.4%増）と2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業種	産業動向
小売業	<p>11月の県内百貨店の売上高は、前年に比べて気温が低く、冬物衣料の販売に動きが出たものの、日曜日が一日少なかったため、全体として対前年比 0.6%減となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同 11.4%増、食料品が同 0.5%増、身の回り品が同 4.3%増とそれぞれ前年を上回ったが、主力の衣料品のマイナス（同 2.2%減）をカバーするまでには至らなかった。</p> <p>中部に拠点を置く食品スーパーへの聞き取りでは、野菜に関して、相場高のために販売価格も高くなり、売上が増加した。また、通年で価格変動の少ない野菜や冷凍食品、惣菜等に対する需要が高まり、その需要を逃さず売上につなげることができていた。</p> <p>11月の県内商店街では、綱引き大会、商店街の各地に芸術作品を展示するイベント、来店時にある合言葉を言えば独自の特典を受けられることができるイベント等が各市町の商店街同士の連携により実施された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観光	<p>平成28年11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約35万人で、前年同月比 11.4%減となった。今年は、例年に比べ曇りや雨の日が多かったことや、下旬の祝日が飛び石連休となったことなどにより、入込客が減少した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約70万台となっており、前年同月に比べて2.1%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数(台)	22,614	20,913	16,802	16,487	16,815	13,421	13,818	20,095	24,249
前年同月比(%)	4.8	35.0	22.5	9.7	▲10.4	▲11.1	▲26.4	2.5	40.6
KD輸出額(百万円)	706	646	535	760	677	762	672	577	719
前年同月比(%)	▲31.5	▲36.7	▲42.9	▲7.6	▲25.9	7.7	▲15.4	▲10.2	▲0.8

<楽器>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額(百万円)	3,821	3,837	3,376	4,157	3,817	3,309	3,851	3,696	3,635
前年同月比(%)	4.4	▲2.8	▲9.3	▲2.5	▲10.3	1.7	4.2	▲10.7	▲0.5

<缶詰>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高(千ケース)	1,015	1,023	1,019	1,112	1,031	983	1,069	1,026	970
前年同月比(%)	8.6	11.0	15.0	5.9	2.5	14.9	18.0	5.1	0.4
うち水産缶詰(%)	▲1.4	0.6	3.7	0.4	▲0.7	10.7	9.7	0.4	▲3.5
農畜産缶詰(%)	40.9	45.5	55.5	23.1	12.1	30.6	51.7	20.8	13.3
飲料缶生産高(千ケース)	7,176	7,924	8,363	7,714	8,479	7,428	7,146	6,562	6,641
前年同月比(%)	2.9	0.4	6.9	▲12.0	▲1.8	3.6	0.2	3.9	▲1.9

<繊維>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物(千㎡)	1,462	1,511	1,203	1,196	1,133	1,135	1,458	1,522	1,693
前年同月比(%)	▲3.7	▲0.5	▲1.5	▲2.3	▲1.4	3.4	8.2	0.5	▲5.8
小幅織物(千㎡)	37	37	33	30	28	26	30	31	32
前年同月比(%)	▲1.6	▲5.1	▲16.4	▲20.1	▲22.3	▲20.8	▲24.7	▲21.4	▲21.3

<観光>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
観光施設(10施設)入込 (千人)	500	510	654	330	363	552	369	431	349
前年同月比(%)	6.9	15.3	▲3.0	▲3.9	19.4	1.2	▲22.8	▲6.2	▲11.4
有料道路(5路線)通行量 (千台)	760	684	732	649	755	862	677	711	701
前年同月比(%)	0.0	5.2	2.1	4.1	6.5	1.8	▲2.2	2.7	2.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成29年1月号 通巻489号

発行 静岡県経済産業部
平成29年1月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>